

平成19年の刺し網によるニゴロブナの漁獲実態

酒井 明久

◆背景・目的

資源管理型漁業を推進しているニゴロブナの漁獲実態を把握するため、主要な漁法である刺し網漁業を対象に漁獲サイズ、年齢組成等を調査した。

◆成果の内容・特徴

- ・平成19年1～3月に琵琶湖栽培漁業センターと共同で収集した1067尾の漁獲魚を対象に、全長を測定するとともに、鱗による年齢査定を行った。
- ・漁獲魚の年齢組成は、1歳と2歳が9割以上を占めた(表1, 図1)。
- ・漁獲魚の全長組成は、23cmをモードとする単峰型であり、全長22cm以下が全体の38%を占めた(図1)。
- ・全長22cm以下の漁獲魚の年齢は1歳と2歳で構成され、このうち1歳が7割を占めた(図1)。

◆成果の活用・留意点

資源回復を目的として平成19年4月1日から漁獲制限サイズが全長22cmに引き上げられた(委員会指示)。本調査はこの直前に実施したものである。資源管理の効果を把握するため、調査の継続が必要である。

表1 平成19年1～3月に刺し網で漁獲されたニゴロブナの年齢組成と平均全長

| 年齢 | 雌 | | | 雄 | | | 不明 尾数 | 合計 | |
|----|-----|-------|-------------|-----|-------|-------------|----------|------|-------|
| | 尾数 | (%) | 全長±標準偏差(cm) | 尾数 | (%) | 全長±標準偏差(cm) | | 尾数 | (%) |
| 1 | 376 | 49.8 | 22.5 ± 1.74 | 219 | 70.4 | 21.5 ± 1.64 | 1 | 596 | 55.9 |
| 2 | 338 | 44.8 | 23.8 ± 2.17 | 72 | 23.2 | 23.3 ± 1.99 | | 410 | 38.4 |
| 3 | 38 | 5.0 | 26.7 ± 2.29 | 20 | 6.4 | 25.9 ± 2.24 | | 58 | 5.4 |
| 4 | 1 | 0.1 | 30.2 ± | | | | | 1 | 0.1 |
| 不明 | 2 | 0.3 | 24.9 ± 2.11 | | | | | 2 | 0.2 |
| 合計 | 755 | 100.0 | | 311 | 100.0 | | | 1067 | 100.0 |

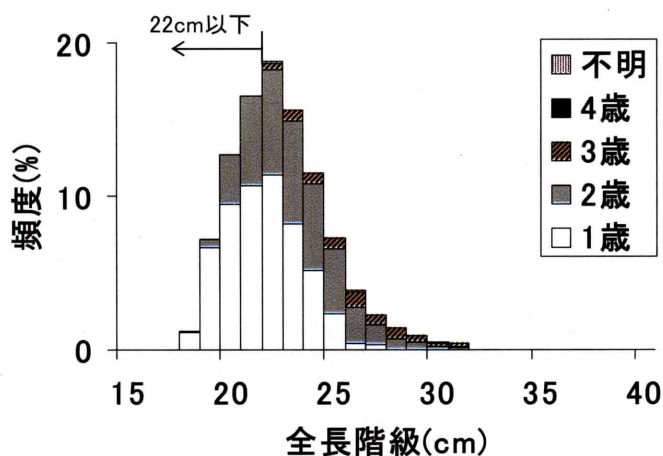


図1. 刺し網漁獲魚(雌雄計)の全長組成(平成19年1～3月).